

平成 22 年 4 月 26 日

各 位

岩手大学農学部獣医学課程
教授選考委員会
委員長 板垣 匡

獣医病理学教授候補者の公募について

拝啓

新緑の候、貴台におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、本学農学部では獣医病理学教授候補者を下記により公募することとなりました。

つきましては、貴機関内に適当な候補者がおられましたなら、応募下さるよう周知方ご高配を賜りたくお願い申し上げます。なお、貴機関以外の方でも適当と思われる方がおられましたならば、ご推挙戴ければ幸甚に存じます。

敬具

記

1. 公募する教員の職名および人数

獣医学課程獣医病理学 教授 1名

2. 公募の概要および職務の内容

応用獣医学分野の構成は獣医病理学、獣医微生物学、獣医寄生虫病学、獣医公衆衛生学、食品安全学の5研究室からなり、獣医病理学研究室には現在、准教授1名、助教1名が在籍しています。今回の公募は獣医病理学を担当する教授を充足するためのものです。

当該研究室の主たる担当科目は動物病理学・同実習、魚病学、鳥類疾病学などです。

3. 選考方針

今回の公募にあたっては、次の諸項を満たす人物が望まれます。

1) 獣医師の資格を有し、獣医学課程における獣医病理学に関する知識と研究能力を備え、学部学生および大学院生の教育と研究指導を行いうる方。

2) 博士の学位を有し、関連する分野において優れた研究業績を挙げておられる方。

なお、業績及び資格に係わる評価が同等である場合には、男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、女性を優先的に採用します。

4. 提出書類

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1) 履歴書 | 1部 (写真貼付、署名、捺印のあるもの) |
| 2) 研究業績目録 | 1部 (別紙または岩手大学ホームページを参照下さい) |
| 3) 主要論文別刷 | 10編以内 |
| 4) 教育研究に対する抱負 | 1部 (1,200字程度) |
| 5) 推薦される場合は推薦状 (様式自由) | |

5. 面接

選考の過程で応募者の来訪を求め、面接などを実施することがあります。この場合の経費は自己負担になります。

6. 提出期限

平成22年5月28日(金)必着

7. 提出先 (問い合わせ先)

〒020-8550

盛岡市上田三丁目18-8

岩手大学農学部獣医学課程

教授選考委員会

委員長 板垣 匡

Tel : 019-621-6219

Fax : 019-621-6219

E-mail : itagaki@iwate-u.ac.jp

(教員応募書類要項と朱書きし、簡易書留で郵送して下さい。なお、応募書類は原則として返却しません。)

(別紙)

研究業績は、A4判の用紙に A. 著書・訳書、B. 学位論文、C. 総説・論説、D. 原著論文 (a) 学術雑誌*¹、(b) 紀要*²、(c) プロシーディングス、E. その他*³、F. 報告書・事業報告書等*⁴、G. 特許・設計等、H. 国際学会発表*⁵

の順に、下記の例を参考にして作成してください。例えば総説・論説がない場合は、C. 原著論文のように繰り上げてください。マージンは左右上下約3cmに設定し、1行35～40字で40行程度(日本文の場合フォントのサイズは10.5～12程度)にしてください。

*1: 学会誌、国際誌等を年代順に記載する。

*2: 試験場報告、研究所報告等を含む。

*3: 商業雑誌、資料等に記載する。

*4: 調査報告書、科学研究費報告書、事業報告書等に記載する。

*5: 最近5か年について記載する。

*6: 英文で著者名を記載する場合は、下記のようにする。

1. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)

*7: 学名にはアンダーラインをつけるか、またはイタリックで記載する。

*8: 論文番号は全角、英数字は半角にする。また、巻数はボールド(太字)とする。

*9: Journal は略記する。

*10: 発行または発表予定として記載可能なのは in press か accepted のみとする。

〈記載例〉

研 究 業 績 (著書・学術論文等)

A. 著書・訳書

1. 岩手一郎(単著)(1990)

農学について. ○○出版社, 東京, 100p.

2. 岩手一郎(分担執筆)(1991)

岩手の農業(大学太郎, 学部一郎編), △△堂, 盛岡, pp. 10-20.

3. 岩手一郎(分担翻訳)(1992)

アメリカの農業 (A. B. Carter 著, 大学太郎監訳), ◇◇社, 東京, pp. 20-30.

4. Iwate, I. and Morioka, J. (分担執筆)(1993)

Agricultural Sciences (Eds.: D. E. F. Green and H. I. James), Bio Press, London, pp. 20-30.

(注) 執筆した表題等は表記する必要はありません。

B. 学位論文

1. 岩手一郎 (1980)

XYZに関する研究. [◇◇学修士または修士(◇◇学) ○○大学]

2. 岩手一郎 (1983)

ABCに関する研究. [◇◇学博士または博士(◇◇学) ○○大学]

C. 総説・論説

1. 岩手一郎 (1994)

岩手における野生動物の分布. 岩手の自然 No. 3 : 1-5.

2. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1995)

岩手山の植物分布. 岩手植物誌 **15**: 215-220.

D. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. 岩手一郎 (1985)

岩手の野生動物に関する研究. 日動学誌 5: 15-20.

2. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)
Distribution of wild animals in Iwate Prefecture. Jpn. J. Anim. Sci. 20: 100-105.
3. Iwate, I. (1990)
Calcium metabolism in laying Japanese quail (*Coturnix coturnix japonica*). Jpn. Avian Physiol. 25: 15-20.

(b) 紀要

1. 岩手一郎 (1985)
トウホクヤマネズミの生態について. 岩手大農報 17: 30-40.

(c) プロシーディングス

1. Iwate, I., Morioka, J. and Akita, N. (1995)
Mode of life of Japanese macaques in northern Japan. Proc. 5th Int. Cong. of Wild Animals, Berlin, pp.101-102.

E. その他

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1990)
北上山系におけるニホンカモシカの生態調査. 野生動物 No.125: pp.35-45.

F. 報告書・事業報告書等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)
イヌワシのPCB汚染. 自然動物調査報告(△△県), pp.10-11.

G. 特許・設計等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)
イヌワシ捕獲装置 特許第 1234567 号

H. 国際学会発表(最近5ヵ年)

1. Morioka, J. and Iwate, I. (1996)
Ecological study of wild animals in Japan. 5th Int. Anim. Ecol., New York.